

新型コロナウイルス関連肺炎の影響に伴う 2020年度夏期ダイヤ期間における国際線の対応について(Rev.2)

新型コロナウイルス関連肺炎の感染拡大に伴う環境変化への対応として、2020年3月29日(日)からの2020年度夏期ダイヤ期間において、以下の国際線運航便の一時運休・減便を追加決定しました。

ご利用のお客さまにはご不便をおかけして申し訳ございませんが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、以下対象期間においては、さらなる減便対応も検討しており、決定次第ご連絡いたします。

■ 2020年3月29日(日)～4月30日(木)の国際線運航便数の概要

方面	計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	運航便数 (片道)	減便便数 (片道)	運航率 (運航便数/計画便数)
北米	12	9	858	440	418	51%
欧州	6	6	462	124	338	27%
東南アジア	14	12	1,188	411	777	35%
オセアニア	2	2	132	5	127	4%
東アジア(以下内訳)	20	20	1,980	517	1,463	26%
北京・大連・天津・上海・広州	11	11	1,056	301	755	29%
香港	2	2	132	64	68	48%
台北、高雄	5	5	462	92	370	20%
ソウル、釜山(前回発表済み)	2	2	330	60	270	18%
ハワイ・グアム(前回発表済み)	6	4	528	336	192	64%
合計	60	53	5,148	1,833	3,315 (※)	36%

(※)前回発表分【対象路線:6、対象便:462便】と今回発表分【対象路線:47、対象便:2,853便】の合計です。

冬期ダイヤ期間の減便発表分は【対象路線:48、対象便:1,857便】です。

<方面、都市>

北米	シカゴ、ダラス・フォートワース、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シアトル、サンディエゴ、バンクーバー
欧州	ロンドン、パリ、フランクフルト、ヘルシンキ、モスクワ、ウラジオストク
東南アジア	シンガポール、クアラルンプール、デリー、ベンガルール、ジャカルタ、マニラ、バンコク、ハノイ、ホーチミンシティ
オセアニア	シドニー、メルボルン
東アジア	北京、大連、天津、上海(浦東・虹橋)、広州、香港、ソウル(金浦)、釜山、台北(桃園・松山)、高雄
ハワイ・グアム	ホノルル(オアフ島)、コナ(ハワイ島)、グアム

以上

※減便対象便・対象日詳細については別添資料をご参照ください。